

海を渡る卵「まんげつ濃厚卵」 __ 鶏卵（生卵）輸出の試み、その後

【新市場創造型ビジネスモデルの実践】

シンガポール向けに鶏卵/付加価値卵（生卵）輸出において新たなマーケットの開拓に挑戦

■概要：

伊勢丹シンガポール・スコッツ店（B1階）において開催された「東海フェア」（2012/7/20-7/29）での日本産空輸「まんげつ濃厚卵」の「生でタマゴを食べる食文化」を通じた販売活動報告。

販売開始キャンペーンをかねて、同フェアに参加。フェア終了後は、常設販売予定。



■実施準備：中部国際空港よりの鶏卵(生卵)輸出は初めての事例となり、その物流システムの構築も含まれます。

【品質管理検証】空輸（離発着時衝撃）からの商品耐久性（鶏卵への損傷ダメージ）、温度管理、混載方法（積み方）のチェックのため、7/5,7/10,7/12の3回（2ケース=40パック/各回）に分けてトライアル検証しました。



ダンボールの紙厚、エアパッキン(プチプチ)の有無、パックの形状、保税倉庫・機内・輸送トラック内の温度測定…割れているものあり

■現地販売活動日程：

7/18(水) 25 ケース (500 パック) 空輸 ……>7/19(木) 検疫後、伊勢丹シンガポール店納入、フェア会場設営

7/20(金) 「東海フェア 2012」フェア開催初日（静岡・愛知を中心に 10 社程出店、

お茶・うなぎ・麺類・稲荷ずし他）

弊社より派遣 2 名・現地販売員 1 名体制で販売活動に従事する

○伊勢丹シンガポール・スコッツ店営業時間

日～木 = 10:00～19:00 金・土 = 10:00～22:00

○販売価格

「まんげつ濃厚卵」シンガポール \$ 9.80 (6 個入り・赤玉)

同店内比較商品「現地ローカル卵」シンガポール \$ 1.80 (6 個入り・赤玉)



「生でタマゴ食べる食文化」の提案を通して、日本産付加価値卵の「安全とおいしさ」を紹介できればと考えていましたが、伊勢丹様と相談の上で「たまごかけごはん」や「釜玉うどん」のような「生卵」での試食体験は文化的な壁が想像以上に高く受け入れられないと判断し断念いたしました。従って、「たまごかけごはん」等の料理写真を展示し、タマゴの安全性・鮮度をアピールするにとどめました。

タマゴの味「おいしさ」を伝える方法として、「温泉たまご」「たまご焼き(だしなし)」の熱調理を用いての試食デモンストラーションを展開しました。

シンガポールには一般的な朝食「カヤトースト(ココナツミルクで作られたジャムを塗ったトーストパン)」と半熟卵(soft boiled egg)を一緒に食べる習慣がありますので、日本の「温泉たまご」は馴染み易かったと思われ

れます。たとえばあまりにもこの「温泉たまご」の作り方を何度も熱心に聞かれましたので、ついにはその作り方のレシピを急遽作成し配布いたしましたほどでした。つきつめて言えば、それほどの「まんげつ濃厚卵」のおいしさを評価していただけたものと感じております。同時にその場で



配布したレシピ

作る「たまご焼き」もその作り方から興味を持たれ、タマゴを割って溶いて焼き上げるまでの一連の作業を見つめる方も多く居られました。聞くと、シンガポールの一般家庭では、キッチンがあってもほとんど使わず外食を主とするため、その調理作業自体が珍しいとのことでした。

一方、在留邦人の方には、直前のメディア報道により「日本産卵」の販売を楽しみにしていました「これでやっと生で食べられる」と、うれしい声をかけていただけました。

そうした中、7/25に再び25ケース(500パック)を空輸しましたが、防疫上の検査に時間がかかってしまい、ほぼ1日(翌7/26夕方まで)販売できず、店頭では「在庫切れout of stock」となる事態にも直面いたしました。

販売実績としては、在留邦人の方には、1個100円以上もする超高級たまごと映ってしまい、なかなか購入までには至らず多に苦戦を強いられました。

10日間を通して販売数682パック(三栄鶏卵調べ)となり、平均75パック/日(販売できなかった一日を除く)となりました。残数は、試食用に使ったもの、フェア後の定番商品(棚置き常設売場)となっております。



■ 評価：

「生でタマゴを食べる食文化」の提案という切り口にこだわらず、「日本産の美味しいタマゴ」を現地の方がどのように理し召し上がっていただけるか、より効果的な商品の紹介方法が今後の展開のキーポイントと考えます。

今回、限られたマーケット(伊勢丹シンガポール・スコッツ店のみ)ではありますが、シンガポールの方の食生活やその背景を少しでも知ることができ、新たなる挑戦の手応えを感じております。



現地産とまんげつを比較



販売風景



たまご焼き作りを見つめる人たち

なお、フェア終了後も引き続きそのまま「まんげつ濃厚卵」は、販売されております。8月・9月の2ヶ月は、10日に1回の割合で空輸する予定です。

連絡先 ■ 三栄鶏卵株式会社 担当：久永時男 TEL：0564-24-4455 e-mail：hisa@sanei-keiran.com